

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年3月15日

1. 意見陳述申込者

ふりがな
ご氏名

年齢 72 歳

性別 (男) ・ 女

ご住所

天塩郡 幌延町

2. ご意見

戦後開拓。昭和26年に、18歳の齡に開拓者として
現在地へ入植した私にとって、天塩川は春の雪解け洪水。夏ど
大雨が続くと洪水となって、折角の畑の作物が冠水し収穫が
望のない。その際り返えしだったのです。
大体が4月上旬から地元サロベツ原野流域での雪解け水による
洪水から始まり、中旬の天塩川下流の雪解けが続く、下旬から
5月上旬の天塩川上流域の雪解けに春先の雨が続きと一斉
に水回が増えて原始河川の下流は、サロベツ原野の広大な
低湿地帯に溢れて湖と化してしまうんです。
因に私の配当を受けた土地は海拔が低い所が97センチ。
ゆるい傾斜の高い所で2.5メートル程度ですから、毎年の洪水
被害を受けるのは当たり前だった所だったんです。
国はその際り返えしを確認。水害常習の常態不適地として、8年後
に隣接開拓地への移転、又、離農を勧告。開拓計画を放棄
しました。私はその時算さえ作れば常態は出来ると勧告を無視
開拓と続けたんです。4人恵まれた子室はこの地を三田として
築がなければと。多くの先生方、友人達の励みによってサロベツの
野に大きな夢を抱いて生きてきました。